

GHG排出量算定サービス導入補助金 サービス一覧

令和 7 年 4 月 1 日時点

※本リストはサービス提供事業者様にご登録いただいた情報を一覧にしております。
各会社等やサービス内容の信頼性等について、静岡県産業振興財団が保証するものではございませんのでご注意ください。

①GHG排出量を算定するサービス（GHG排出量可視化システム）

	サービス名	会社名等	算定範囲	算定サービス概要(セールスポイント等)	算定サービスのご利用方法	サービスHP(URL)
1-1	AAKEL eCarbon	アークエルテクノロジーズ株式会社	・Scope1 ・Scope2 ・Scope3	オンライン会議で入力方法のレクチャーが可能です。 Scope1-2 排出量算定のための安価で簡単に始められるプランもあります。	Scope 別、カテゴリ別の排出量登録 先月入力内容のコピー機能	https://aakel.co.jp/ecarbon https://aakel.co.jp/service/cn-consulting
1-2	しずおか G X サポート	・遠州信用金庫 ・静岡銀行 ・静岡中央銀行 ・しずおか焼津信用金庫 ・島田掛川信用金庫 ・清水銀行 ・スルガ銀行 ・静岡信用金庫 ・沼津信用金庫 ・浜松いわた信用金庫 ・富士信用金庫 ・富士宮信用金庫 ・三島信用金庫 (五十音順)	・Scope1 ・Scope2 ・Scope3	・慣れ親しんだExcelベース (誰でも簡単！グラフで見える化) ・安心の伴走支援 (計画策定、補助金、資金調達までサポート) ・GHGプロトコル対応 (国際的に認められた算定・報告基準)	取り扱い金融機関にお問い合わせください。	[静岡銀行] https://www.shizuokabank.co.jp/corporation/management/gx_support/ [しずおか焼津信用金庫] https://www.shizuokayazu-shinkin.co.jp/corporation/support/gx [島田掛川信用金庫] https://www.sk-shinkin.co.jp/corporation/support/gxsupport/ [清水銀行] https://www.shimizubank.co.jp/corporate/support/gx_support.html [スルガ銀行] https://www.surugabank.co.jp/surugabank/houjin/service/gx_support/ [静岡信用金庫] https://www.seishin-shinkin.co.jp/topics/2024/240315_2.html [沼津信用金庫] https://www.numashin.co.jp/jigyo/gxsupport.html [浜松いわた信用金庫] https://hamamatsu-iwata.jp/business/biz-support/gx.html [富士信用金庫] https://fujii-shinkin.jp/GX-support/ [富士宮信用金庫] https://www.miyashin.co.jp/gxsupport/index.html [三島信用金庫] https://www.mishima-shinkin.co.jp/cms_source/data/info/detail/2024/359.html
1-3	ファストカーボン	東武トップツアーズ株式会社	・Scope1 ・Scope2 ・Scope3	・「ファストカーボン」は、自社の会計データを基に手間なくCO2排出量を算定できるシステム (物量データによる算出にも対応) ・Scope3対応でありながら、業界最安水準 ・国際規格に基づく妥当性を第三者機関が確認済みで世界に通用 ◆可視化プラン⇒排出量算定ツールの年間ライセンスで、CO2排出量の可視化をいつでも、何度でも ◆レポートプラン⇒排出量算定ツールの年間ライセンスに加え、サステナビリティ報告書など、対外発信に使えるレポートを年一回提供	Excelと経理の基礎知識があれば、マニュアルを参照しながら自力でテンプレート（算出に使うデータを登録する専用の書式）の作成が可能。 ≪会計データからの排出量算定は3ステップのみ≫ ① 使い慣れた会計ソフトから総勘定元帳のデータを出力 ② 総勘定元帳のデータからCO2排出量の算定に用いる項目を丸ごとテンプレートにコピー＆ペーストし、排出係数と紐づけるシステム科目に対応させてアップロード ③ Scope・カテゴリ別のCO2排出量に加え、排出量の多い勘定科目トップ10や経時変化などの分析結果も即座に表示	https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/fast-carbon/
1-4	ScopeX	(株)TBM	・Scope1 ・Scope2 ・Scope3	お客様に寄り添うCO2算定サービスScopeX(スコープエックス)【明瞭】 Scope2まで月5,000円から、Scope3は月20,000円から提供します。 【安心】 問い合わせ回数無制限。煩雑な算定業務やルールも分かりやすくご説明します。 【使いやすい】 シンプルに設計されたデザインで、迷わず操作ができます。	①TBMのサポートによって使用するべき算定項目はあらかじめ表示されるので、使用量や金額を画面から直接入力する。 ②CSVデータのアップロードによって一括入力も可能です	https://scopex.tb-m.com/
1-5	Zeroboard	株式会社ゼロボード	・Scope1 ・Scope2 ・Scope3 ・サプライチェーン連携機能	・ユーザーフレンドリーなUIで、ユーザーのレベルに応じた高い柔軟性 ・算定の省力化、正確性の向上、ガバナンス強化など多機能	お申し込み後、弊社よりIDを発行させて頂きご利用頂きます。 導入にあたってのセットアップ等は特に御座いません。	https://zeroboard.jp/
1-6	アスエネ	アスエネ(株)	・Scope1 ・Scope2 ・Scope3 ・サプライチェーン連携機能	・使いやすいUI・UXでCO2排出量の把握から原因分析までワンストップ管理が可能 ・領収書のアップロードのみでScope1・2の算定が可能なAI-OCR機能を搭載し、各種システムとの自動連携によって入力工数を削減。 ・ISO準拠のScope1～3全カテゴリの排出量算定に対応し、一次データ取得や削減シミュレーション、非化石証書・クレジットの活用など、可視化から削減までを一貫支援。 SBTi・CDP・TCFD等各種イニシアティブへの対応も可能。	・クラウドサービスなので、ネット環境とパソコンがあれば運用可能 ・ご契約いただいた会社様にIDを発行させていただきます	https://asuene.com/
1-7	C-Turtle®	(株)NTTデータ	・Scope1 ・Scope2 ・サプライチェーン連携機能	総排出量配分方式というサプライヤ様との取引金額に応じて排出量を按分する方式をシステムに採用した日本で唯一のサービス。本方式により特にScope3の削減に寄与。EEGS対応等、外部報告対応機能も実装。大企業～中小企業様、業種問わず幅広くご導入いただいている。中小企業様へ無償プランもご用意。（年間売上50億円未満対象）。売上に応じた課金体系で、ID、拠点数の制約なし。	弊社営業担当者（mis-mfg3-green@kits.nttdata.co.jp）へご連絡をお願いいたします。 サービスの詳細な仕様をご紹介させていただくとともに、導入に向けた流れをご案内差し上げます。	https://www.nttdata.com/jp/ja/lineup/c-turtle/

1-8	EcoNiPass (エコニパス)	鈴与商事(株)	・ Scope1 ・ Scope2 ・ サプライチェーン連携機能	・ Scope1,2 を対象に安価で簡単に GHG 排出量の算定が可能 ・ サプライチェーン連携機能を搭載しており、企業間の情報連携が容易	専用の入力フォーマット(Excel)に月別のエネルギー使用量を入力しアップロード	https://www.suzuyoshoji.co.jp/business/service/faid/detail/152.html
1-9	e-dash	e-dash(株)	・ Scope1 ・ Scope2 ・ Scope3	「e-dash」の強み ・ CO2排出量等の可視化・一元管理 エネルギーの使用量・コスト・CO2排出量（Scope 1・2・3）を 毎月の関連する請求書（電力・ガス・燃料等）のアップロードだけで自動で可視化。 集約されたデータは、分かりやすい画面で管理。 ・ CO₂排出量の削減目標の設定・予実管理 CO₂排出量の削減目標の設定の支援を受け、画面上で予実を管理。 ・ CO2排出量の削減提案 ソリューションの提案から事業者の選定、実行までのプロセスを簡単に。 サービス利用期間に亘り、いつでも回数制限なく相談可能。 ・ 充実したサポート オンボーディングから可視化の先の取り組みまで、カスタマーサクセスチームがしっかり伴走。 ・ 環境価値の調達 信頼性が高く高品質なクレジットや非化石証書を、必要な量だけ簡単に購入。活用方法については事前にアドバイスを受けることも可能。 ・ 中小企業版SBT取得支援 国際認定であるSBTについて、SBTの水準に沿った目標設定から申請書の作成までを支援。取得完了後の年に1回の公表についても、有効な対外開示・発信に向けサポート。	お申込みいただいた後、キックオフミーティングにて操作方法やアップロードいただく請求書についてご案内させていただきます。 毎月のエネルギー関連の請求書をe-dashにアップロードしていただければ、e-dash側での登録作業とチェックを経て使用量・コスト・排出量を画面上に反映します。 データが一定程度蓄積され次第、フェーズアップミーティングにて目標設定や削減の提案をさせていただきます。	https://e-dash.io/